

高精度湛水直播機に装着する作溝装置を開発しました！

(特許出願中 特願 2008-304112)

【1 水稻直播栽培でこんなことで困っていませんか？】

「落水出芽」中に、圃場がなかなか乾かず、苗立が安定しない

既存の溝切り機では物足りない

均平が不十分で、落水したのに所々水たまりが出来てしまう

生育が進むにつれて坪状の欠株部分が出来る

【2 そんな悩みを解消する装置を開発しました！】

装置の特徴は、各社の多目的田植機の直播用フロートの下部に簡単に取り付けできます。この装置は播種と同時に播種列の間に、幅 10～15 cm、深さ 5～8 cm 程度の V 字状の溝を付けることができます。

【3 この作溝装置を使うと次の効果が得られます】

播種した条の周りに溜まる水を速やかに排水し、落水出芽を助けます。出芽ムラを解消し、作溝しない場合に比べ、苗立率が 5% 程度高まります。枕地周辺など水たまりによる坪状の欠株の発生を防ぎます。播種位置がわかるので、播種作業や出芽状況の確認がしやすくなります。

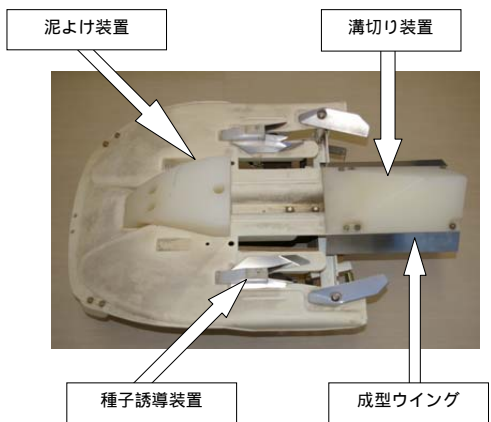


写真1 開発した作溝同時播種装置
 (播種機フロートを裏面から見た所)

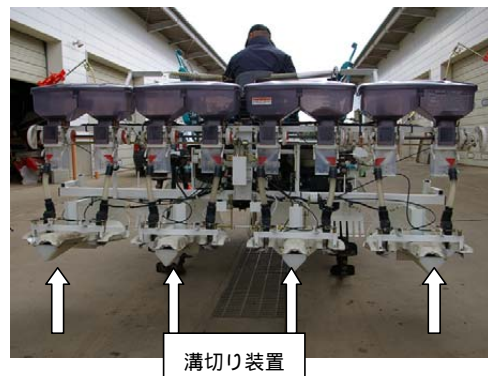


写真2 多目的田植機(8条播種)に装着した状態)



写真3 作溝同時直播機による作業状況

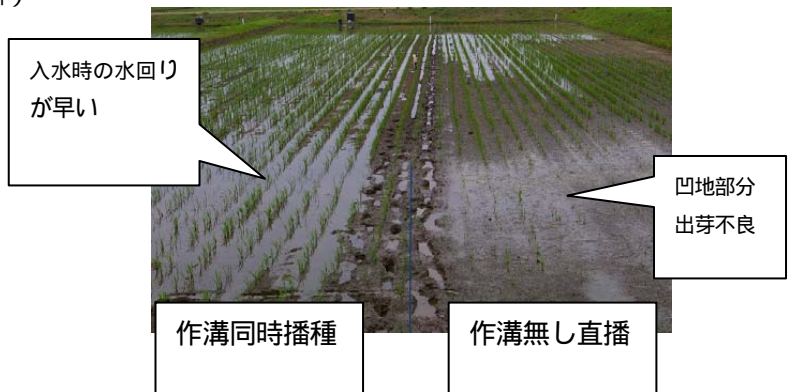


写真4 入水と出芽の状況(H20.6.19)

【4 適応対象】

県下全域の水稻湛水直播栽培農家等